

市町村アンケート調査記載要領

各欄の説明・記載要領

欄	各欄の説明・記載要領
A 分野	<ul style="list-style-type: none"> ・気候変動影響評価報告書及び国の気候変動適応計画に基づく分類体系です。 ・修正等の必要はありません。
B 項目	
C 細目	
D 影響	<ul style="list-style-type: none"> ・国の気候変動適応計画等に基づき、分野・項目ごとに、現在の又は将来予測される全国的な影響を記載しています。 ・記載内容が、各市町村における状況と異なる場合は、<u>加筆・修正</u>してください。 (例えば、記載内容以外に、市町村で現に受けている影響や将来懸念又は予測されている影響がある場合は、その内容を記載)
E 取組の例	<ul style="list-style-type: none"> ・分野・項目ごとに考えられる一般的な適応策の取組の例を示したものです。 ・<u>修正等の必要はありません。</u> ・当該取組の例を参考に、市町村で実施又は検討している取組について、F欄以降に記載してください。
F 取組の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・「E 取組の例」を参考に、<u>市町村で実施又は検討している取組がある場合は、その名称を記載</u>してください。 ・「E 取組の例」に対応する取組が複数ある場合は、適宜行を追加してください。 現在記入している取組の名称は、昨年度県庁内で照会を行った事業を参考で記入しています。
G 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「F 取組の名称」に記載した<u>取組の内容をできるだけ具体的に記載</u>してください。
H 参考情報 (資料名、 Webサイト等)	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容の分かる資料や掲載したウェブサイト等がある場合は、その名称を記載してください。(例：「〇〇研究報告書」、「〇〇計画」、)
I 参考情報 URL	<ul style="list-style-type: none"> ・「H 参考情報」に記載した資料等がウェブサイトで公表されている場合は、URLを記載してください。
J 担当課	<ul style="list-style-type: none"> ・当該取組に係る担当所属を記載してください。
K 連絡先 (外線及び 内線)	<ul style="list-style-type: none"> ・「J 担当課」に記載した所属の電話番号を記載してください。
L 市町村間での 情報共有及び 公表の可否	<ul style="list-style-type: none"> ・県内市町村間での情報共有のみが可能な場合は「△」、情報共有・公表両方に支障がある取組については、「×」を記載してください。

福岡県における気候変動影響及び適応策の実施・検討状況について【市町村アンケート】

A 分野	B 項目	C 細目	D 気候変動による福岡県内での影響		E 取組の例	F 気候変動影響による被害を防止・軽減するため、市町村で実施または検討している取組の名称	G 取組内容	H 参考情報等	I 担当課
			●:現在の影響 △:将来予測される影響						
(1) 農業、森林、林業、水産業	農業	水稻	●高温による品質低下【白未熟粒の発生、胴割粒の発生、一等米比率の低下等】 ●極端な高温年の収量の減少 △現状より3℃を超える高温での収量の減少 △一等米比率の低下	高温耐性品種の開発・普及	高温耐性品種の導入	県が開発した稲の高温耐性品種への切り替えを県・JA・市で推進。		北九州市産業経済局農林課 093-582-2078	
		園芸作物(野菜、花き)	●施設野菜【高温による裂果、着果・着色不良、花芽分化の遅延、高温回避のための遮光による光合成の低下、高温によるマルハナバチ等の受粉活動低下等】 △野菜【計画的な出荷が困難になる可能性】	高温対策(換気・遮光、地温抑制マルチ、パット&ファン、細霧冷房、循環扇、ヒートポンプ等の導入)	都市近郊野菜産地等整備事業	遮光フィルム等の使用、ハウス栽培における循環扇による空気攪拌、細霧冷房(細かい霧を吹きかけることによる気温の低下)等トマトを含め各品目の高温対策に関し、福岡県・JAと連携しながら必要な情報提供等を行っている。		福岡市農林水産局農業振興課 092-711-4852	
		病害虫・雑草・動物感染症	●病害虫の分布域の拡大 ●害虫・天敵相の構成の変化 ●新たな病害虫の侵入 △害虫・天敵相の構成の変化	指定有害動植物の発生予察	情報の収集及び伝達	新たな病害虫と病害虫対策について、県等の専門機関から早期に情報を収集し、農業者への周知を図る。		北九州市産業経済局農林課 093-582-2078	
	森林・林業	山地災害、治山・林道施設	●時間雨量50mmを超える短時間強雨の発生頻度の増加に伴う土砂災害発生件数の増加 ●大量の流木が発生するといった流木災害の顕在化 △大雨事象の増加による集中的な崩壊・土石流の頻発	治山施設の整備や森林の整備	荒廃森林再生事業	福岡県森林環境税を活用して、長期にわたって手入れが行われずに放置されている荒廃したスギ林・ヒノキ林を間伐し、森林の公益的機能が発揮されるよう再生している。	<福岡県森林環境税を活用したスギやヒノキの間伐・除伐> http://www.city.kitakyushu.lg.jp/san-kei/10900052.html	北九州市産業経済局農林課 093-582-2078	
				浸透・保水能力の高い森林土壌を有する森林の維持・造成	保安林及び治山施設の整備・既存施設の機能強化	森林の山地防災力の向上を図るため、保安林及び治山施設の整備を推進している。	https://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/kiji0034847/index.html	田川市産業振興課	
				森林の水源涵養機能の適切な発揮	—	市営造営整備事業や荒廃森林事業を活用することで、災害防止や田川市の森林整備を実施	https://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/kiji0034847/index.html	田川市産業振興課	
				森林の公益的機能の発揮	市内水源かん養林整備事業	計画的な間伐や造林等の水源かん養林整備を継続して実施している。	<福岡市ホームページ> http://www.city.fukuoka.lg.jp/mizu/ryuiki/0036.html	福岡市水道局流域連携課 092-483-3195	
				森林の公益的機能の発揮	荒廃森林整備事業	長期間放置され今後荒廃する可能性のある人工林に対して間伐等を実施し、水源かん養等の公益的機能が十分に発揮できる森林に整備している。	http://www.city.onojo.fukuoka.jp/s068/030/010/040/020/9034.html	大野城市環境・最終処分場対策課 092-580-1886	
	病害虫	●気温上昇や降水量の減少による病害虫の被害域拡大の可能性 △気温の上昇等による病害虫危険度の増加と被害の拡大	森林病害虫等防除法に基づく防除	松くい虫防除による住環境保全対策事業	海岸松林の適切な保全等、森林の保全対策を継続して行っている。	<福岡市ホームページ> https://www.city.fukuoka.lg.jp/nosui/shinrin-rinsei/life/matukuiumusitaisaku.html	福岡市農林水産局森林・林政課 092-711-4846		
	水産業	海面養殖業	●アコヤガイ等に影響を与える赤潮の長期化や熱帯性有毒プランクトンによる貝類の毒化 △高水温化による赤潮発生頻度の増加に伴う二枚貝等のへい死リスクの上昇	赤潮プランクトンの発生に関する調査及び情報提供	赤潮対策事業	赤潮等による漁業被害を事前に防ぐため、水質や赤潮プランクトンの出現状況を定期的に監視している。		北九州市産業経済局水産課 093-582-2086	
造成漁場		●カジメ科藻類の分布南限の北上化や暖海性藻類の種数増加 ●アイゴなどの植食性魚種の摂食行動の活発化と分布域の拡大による藻場の減少 △海水温の上昇による藻場の種構成や現存量の変化に伴うアワビ等の磯根資源への影響 △漁獲対象種の分布域の北上	水産生物のすみかや産卵場等となる漁場整備	水産環境整備事業	市民へ新鮮で安全・安心な水産物を安定的に供給し、漁業経営向上のため、藻場や干潟の保全や再生に取り組んでいる。海藻の着生基盤となる天然石やスラグ人工石を海底に設置して藻場の創出を図っている。また、干潟を再生するため、アサリの資源回復試験を実施している。		北九州市産業経済局水産課 093-582-2086		
			藻の繁茂状況、植食性動物の動向等についてのモニタリング、植食性魚類の除去などの食害生物対策等の順応的管理手法の導入	水産多面的機能発揮対策事業	漁業者等が藻場の維持・回復を目的に実施する食害生物(ウニ類)の除去活動に対して支援している。		北九州市産業経済局水産課 093-582-2086		

A 分野	B 項目	C 細目	D 気候変動による福岡県内での影響		E 取組の例	F 気候変動影響による被害を防止・軽減するため、市町村で実施または検討している取組の名称	G 取組内容	H 参考情報等	I 担当課
			●:現在の影響	△:将来予測される影響					
(2) 水環境、水資源	水環境	水環境全般	●水温の変化、水質の変化、流域からの栄養塩類等の流出特性の変化		水質のモニタリングや将来予測に関する調査研究	博多湾環境保全計画の推進	博多湾環境保全計画に基づき、貧酸素水塊の発生状況や生物の生息状況の調査を継続して実施している。		福岡市環境局環境調整課 092-733-5389
		河川	●水温の上昇、水温の上昇に伴う水質の変化 △降水量の増加による土砂生産量の増加、河川水中の濁度の上昇 △水温の上昇によるDO(溶存酸素)の低下、溶存酸素消費を伴った微生物による有機物分解反応や硝化反応の促進、藻類の増加による異臭味の増加等		水質のモニタリング等による科学的知見の集積	河川水質検査	那珂川市内の河川を対象に、12地点にて年2回の水質検査を実施し、pH(酸性、アルカリ性の度合い)、BOD(生物学的酸素要求量)、SS(浮遊物質)、MPN(大腸菌群数)、DO(溶存酸素量)の5項目について、推移を調査している。		那珂川市環境課 092-953-2211
	水資源	基本的な考え方	●降水日数の減少、渇水の発生 ●田植え時期や用水管理の変更等、水資源の利用方法への影響		渇水リスク情報の共有	広報、HP等による周知及び節水の呼びかけ	関係団体と密に情報共有を行うとともに、市広報やHPを通じて市民等へ周知及び節水の呼びかけを行う。	<市HP 水源情報> http://www.city.onojo.fukuoka.jp/s079/010/010/020/060/10244.html	大野城市企業総務課 092-580-1933
		比較的頻度の高い渇水による被害を防止する対策	△無降水日数の増加や積雪量の減少による渇水の増加 △気温の上昇による農業用水の需要への影響			再生水利用下水道事業の推進	下水処理水の水質を向上させた水をトイレの洗浄用水や樹木の散水用水として利用する等の有効利用を継続している。		福岡市道路下水道局施設管理課 092-711-4516
	施設の能力を上回る渇水による被害を軽減する対策			関係者が連携した渇水対策の体制整備等	北九州市、下関市の非常時における水道水の相互融通に関する協定	渇水や事故等の非常時に、日本道路公団(現 西日本高速道路株式会社)が管理する関門トンネル内の消火用配管を経由して水道水の相互融通を行う。	<関門トップ会談の開催状況> http://www.city.kitakyushu.lg.jp/soumu/file_0280.html	北九州市上下水道局広域事業課 093-582-3141	
	農業、森林・林業分野における対策			効率的な農業用水の確保・利活用等	樋門等の水利調整による用水確保	各樋門等の実操作を行う樋管保守人がそれぞれの樋門等を操作することにより、限られた用水の確保及び節水を行う。		大川市クリーク課 0944-85-5542	
(3) 自然生態系	共通的な取組	調査・研究	-		気候変動による生態系や種の分布等の変化のモニタリング調査	久留米市生物多様性地域戦略「くめ生きものプラン」推進のための久留米市自然環境調査と、指標種の設定。	平成30～31年度に市内の自然環境調査を実施。指標種を設定および市民参加型モニタリングの実施について検討中。	<久留米市生物多様性地域戦略「くめ生きものプラン」> <久留米市自然環境調査> https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1050kurashi/2100kankyogomi/3215ikimonoplan/2019-0620-0856-293.html	久留米市環境保全課 0942-30-9043
		情報共有、普及啓発、人材育成	-		気候変動と生物多様性及び生態系サービスの関係に係る情報の共有と普及啓発の実施、人材の確保・育成	那珂川市自然環境観察員制度	那珂川市に生息している動植物、水生生物、昆虫、地形地質について、観察や調査を行い、自然環境に詳しい人材の育成を行っている。		那珂川市環境課 092-953-2211
	陸域生態系	気候変動に対する順応性の高い健全な生態系の保全・再生	●野生鳥獣による影響【ニホンジカ等の分布拡大】 △野生鳥獣による影響【気温の上昇や積雪期間の短縮によるニホンジカなどの野生鳥獣の生息域の拡大】	外来種の防除と水際対策	特定外来生物アライグマ等への取組	久留米市アライグマ防除実施計画書を策定し、市民協働で防除活動を実施している。	<久留米市アライグマ防除実施計画書> https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1050kurashi/2100kankyogomi/3210gairaihu/2019-0509-1550-293.html	久留米市環境保全課 0942-30-9043	
					外来種駆除(検討中)	誰でもできる駆除方法を試行し、紹介することで駆除の輪を広げる。 駆除生物の利活用についても検討する。		遠賀町住民課環境衛生係	
淡水生態系	生態系ネットワークの形成	△河川【最高水温が現状より3℃以上上昇した場合、冷水魚が生息可能な河川面積が減少】	生物が往来できる水系を基軸とした生態系ネットワークの形成	河川事業	河川事業を行う際、環境に配慮し、潤いのある水辺空間や多様な生物の生息・生育環境の場としての川づくりを目指している。また、堰や落差工には魚道を設ける等、河道の連続性確保に努めている。	<河川事業> http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kensetu/05100109.html	北九州市建設局水環境課 093-582-2491		
分布・個体群の変動	モニタリング等の調査	●分布の北限の高緯度地域への移動など、分布域の変化、ライフサイクル等の変化 △分布域の変化やライフサイクル等の変化、種の移動・局地的な消滅に伴う種間相互作用の変化による悪影響等	種の分布や個体群の変化のモニタリング等の調査	自然環境調査	生物の生息状況の把握および情報提供を実施している。	<福岡市ホームページ> http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/k-chosei/hp/sizenkanyou/sizen_data.html	福岡市環境局環境調整課 092-733-5389		

A 分野	B 項目	C 細目	D 気候変動による福岡県内での影響		E 取組の例	F 気候変動影響による被害を防止・軽減するため、市町村で実施または検討している取組の名称	G 取組内容	H 参考情報等	I 担当課	
			●:現在の影響	△:将来予測される影響						
(4) 自然災害・沿岸域	水害	災害リスクの評価	●時間雨量50mmを超える短時間強雨や総雨量が数百mmから千mmを超えるような大雨の発生による甚大な水害(洪水、内水、高潮)の発生 △洪水を起こしうる大雨事象の増加 △施設の能力を上回る外力(災害の原因となる豪雨、高潮等の自然現象)による水害の頻発	分かりやすくきめ細かい災害リスク情報の提示	洪水・土砂災害ハザードマップの策定	大雨等に起因する洪水による災害を防止するため、ハザードマップを作成し、他の災害リスクや防災情報とともに総合防災マップに記載し各戸配布している。	<古賀市ホームページ> https://www.city.koga.fukuoka.jp/cityhall/work/somu/saigai/014.php	古賀市総務課 092-942-1112		
				ハザードマップの作製	町内の冠水箇所や土砂災害警戒区域、避難所等について記載			遠賀町総務課庶務係		
				想定しうる最大規模の外力の検討及び浸水深・浸水継続時間の明示	総合防災マップの作成	防災に関する啓発資料を含め、市内の浸水想定区域を記載した総合防災マップの作成。	なし(R2.3末ごろ総合防災マップをHPに掲載予定)	那珂川市安全安心課 092-953-2211		
		比較的発生頻度の高い外力に対する防災対策		築堤や河道掘削、洪水調節施設、下水道等の施設の着実な整備	浸水対策事業	重点地区を定め雨水対策を行う「雨水整備DOプラン」及び雨水対策を強化した「雨水整備レインボープラン天神」に基づき浸水対策を継続して進めている。	<福岡市ホームページ> http://www.city.fukuoka.lg.jp/doro-gesuido/gesuidoujigyou/hp/measure.html (Doプラン) http://www.city.fukuoka.lg.jp/doro-gesuido/c-kensetsu/hp/reinbowplan.html (レインボープラン天神)	福岡市道路下水道局下水道事業調整課 092-711-4428		
		施設の能力を上回る外力に対する減災対策		災害リスク情報のきめ細かい提示・共有等	災害に関する基本的な情報提供	市民に対し災害に関する基本的な情報を提供し、事前の備えとして役立つ冊子「いいつか防災」を作成し、各家庭に配布した。	<飯塚市HP> https://www.city.iizuka.lg.jp/shobobosai/zenzen/bosai/bosai/yobo/map.html	飯塚市防災安全課 0948-22-5500		
		芦屋町洪水・土砂災害・津波ハザードマップの作成		災害に関する基本的な情報提供	洪水、土砂災害、津波のハザードマップを作成し、住民に配布することで災害リスクに関する住民への周知を図っている。	<芦屋町ホームページ> http://www.town.ashiya.lg.jp/view.rbz?ik=1&nd=153&pnp=101&pnp=153&cd=1120	芦屋町総務課 093-223-3572			
	高潮・高波等	港湾	△海面上昇【温室効果ガスの排出をさえた場合でも一定の海面上昇は免れない】 △高潮【海面上昇による高潮リスクの増大、台風の強度の増加等による波高や高潮偏差の増大に伴う港湾及び漁港防波堤等への被害等】 △沿岸部(港湾)【強い台風の増加等による高潮偏差の増大・波浪の強大化及び中長期的な海面水位の上昇に伴う高潮等による浸水被害の拡大】	災害リスクに関するきめ細かな情報提供	津波・高潮ハザードマップの策定	高潮等による災害を防止するため、ハザードマップを作成し、他の災害リスクや防災情報とともに総合防災マップに記載し各戸配布している。	<古賀市ホームページ> https://www.city.koga.fukuoka.jp/cityhall/work/somu/saigai/014.php	古賀市総務課 092-942-1112		
				災害廃棄物等処理への備えの充実	災害廃棄物等を適正かつ円滑・迅速に処理できる強靱な廃棄物処理システムの構築	①近隣自治体との相互協定の締結 民間事業者との協定の締結 ②災害廃棄物処理依頼受付及び収集支援システムの構築	①福岡県内の市町村、6つの自治体及び一部事務組合(※)と相互協定を締結し、災害廃棄物等の適正処理を行う。 (※:八女西部広域事務組合、うきは久留米環境施設組合、甘木・朝倉・三井環境施設組合、鳥栖・三養基西部環境施設組合、大川市、筑紫野・小郡・基山清掃施設組合)民間事業者(福岡県産業資源循環協会)と災害廃棄物処理協定を締結し、災害時の迅速な対応が可能となった。 ②災害発生時の災害廃棄物処理(収集運搬)依頼受付から収集計画と指示書の作成を迅速に行うための受付及び収集支援システム(PS)の構築を実施予定	<久留米市災害廃棄物処理計画> https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1050kurashi/2100kankyogomi/3078saigaihaiki/2018-0915-1327-58.html	久留米市環境部施設課 0942-27-5371 久留米市環境部資源循環推進課 0942-30-9143	
				土砂災害	土砂災害の発生頻度の増加への対策	●全国各地で土砂災害が頻発し、甚大な被害が発生 △短時間強雨や大雨の増加に伴い、土砂災害の発生頻度が増加するほか、突発的で局所的な大雨に伴う警戒避難のためのリードタイムが短い土砂災害の増加、台風等による記録的な大雨に伴う深層崩壊等の増加が懸念	住民や地方公共団体職員に対する普及啓発による土砂災害に関する知識を持った人材の育成 実践的な防災訓練、防災教育を通じた土砂災害に対する正確な知識の普及	古賀市防災士育成事業 地図を活用した災害図上訓練(DIG)	自主防災組織の活性化を図るため、組織のリーダー等として活躍する、防災士の資格取得費について補助を実施している。 土砂災害警戒区域等に居住する市民に対して、防災意識の高揚等を目的に地図を活用した災害図上訓練(DIG)を実施する。	<古賀市ホームページ> https://www.city.koga.fukuoka.jp/cityhall/work/somu/saigai/016.php
								<DIG(住民参加型災害図上訓練)> http://www.city.kitakyushu.lg.jp/shoubou/13800031.html	北九州市危機管理室危機管理課 093-582-2110	

A 分野	B 項目	C 細目	D 気候変動による福岡県内での影響		E 取組の例	F 気候変動影響による被害を防止・軽減するため、市町村で実施または検討している取組の名称	G 取組内容	H 参考情報等	I 担当課								
			●:現在の影響	△:将来予測される影響													
(5) 健康	暑熱	情報提供、普及啓発	●気温の上昇による超過死亡(直接・間接を問わずある疾患により総死亡がどの程度増加したかを示す指標)の増加は既に生じていることが世界的に確認 ●気候変動の影響とは言い切れないものの、熱中症搬送者数の増加が全国各地で報告 ●1年間の真夏日(日最高気温が30℃以上の日)の日数が多くなると、熱中症死亡数も増加する傾向 △RCP8.5シナリオを用いた予測では、熱中症搬送者数は、21世紀半ばには四国を除き2倍以上を示す県が多数となり、21世紀末にはRCP2.6シナリオを用いた予測を除きほぼ全県で2倍以上になることが予測	各場面における気象情報及び暑さ指数(WBGT)の提供や注意喚起、予防・対処法の普及啓発、発生状況等に係る情報提供	北九州市健康アプリ「GO!GO! あるくつちゃ KitaQ」内での熱中症予測の表示	北九州市健康アプリ「GO!GO! あるくつちゃ KitaQ」内に、熱中症予測情報を表示し、熱中症の注意喚起を行っている。仕組み:環境省「熱中症予防情報サイト」による「熱中症予防のための運動指針」の情報を3時間毎に15時間先まで表示(北九州市(八幡))するもの。			北九州市保健福祉局健康推進課 093-582-2018								
										熱中症にかかる情報提供	福岡市熱中症対策方針に基づき、関係部局が連携して予防・対処法の普及啓発等の熱中症対策を推進している。 ・ホームページや啓発リーフレットなどによる予防・対処法の情報提供 ・暑さ指数をホームページ、防災メールやLINEにより配信 ・熱中症搬送状況統計データ等の情報提供 等	<福岡市ホームページ> http://heatstroke.city.fukuoka.lg.jp/	福岡市環境局環境保全課 092-733-5386				
										①広報記事を活用した熱中症予防の普及啓発・注意喚起 ②行政情報掲示板を利用した熱中症予防記事の掲載 ③防災無線を利用した熱中症予防放送	①5/15号の広報に熱中症予防のための詳細記事を掲載。6~8月号の広報カレンダーに予防のための注意事項を常時掲載。 ②市役所、駅前、市内各施設に設置している行政情報掲示板に熱中症予防のための注意事項を6/15~9/30まで常時掲載。 ③環境省の熱中症予防メールでWBGT31以上を超えるメールが届いた場合、防災無線を使用し、熱中症予防の注意喚起放送を行う。放送と前後し、市職員用電子回覧と市ホームページに放送内容を掲載。また、市職員共通フォルダ内に環境省作成熱中症環境保健マニュアル等を保存しており、担当課以外に連絡があった場合、活用してもらうよう依頼している。(但し、メディア等で啓発等の多い時期は除く。)	① http://city.fukutsu.lg.jp/shisei/kouhouList.php?SEQ=296 ③ http://city.fukutsu.lg.jp/top.php	福津市いきいき健康課 0940-34-3351				
										熱中症に関するセミナーの開催、パンフレット作成等	熱中症予防の普及啓発・注意喚起(チラシ配布・見守り)	生活保護受給者に一般市民向けの熱中症予防のチラシを配布している。特に注意が必要な高齢者等については、民生委員や介護サービス事業者等の関係機関と連携して安否確認や健康状態の把握に努めている。	<熱中症対策について> http://www.city.kitakyushu.lg.jp/shoubou/file_0007.html	北九州市保健福祉局保護課 093-582-2445			
											介護予防出前講座	高齢者の熱中症について予防及び、対応について4月~9月頃に希望する団体に向け、講話を行っている。		那珂川市健康課 092-954-0043			
										熱中症による救急搬送人員数の調査・公表や、予防のための普及啓発	熱中症予防の普及啓発	市ホームページに、以下の情報を掲載し、注意喚起を行っている。 ・久留米市の熱中症搬送状況速報 ・熱中症予防 ・久留米市の取り組み	http://www.city.kurume.fukuoka.jp/1050kurashi/2060hokeneisei/3050kenkouzukuri/2018-0717-1232-209.html	久留米市保健所健康推進課 0942-30-9331			
												熱中症予防に関する情報を市のホームページに掲載している。	<飯塚市HP> http://www.city.iizuka.lg.jp/hoken-c/kenko/kenko/kenko/necchuushou.html	飯塚市健幸・スポーツ課 0948-24-4002			
										クールスポットの整備・普及啓発	ヒートアイランド対策	打ち水の普及啓発や緑のカーテン等による日陰・クールスポットの創出を行う等暑熱環境に適応したライフスタイルの転換を推進している。	<福岡市ホームページ> http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/ondan/midori_no_katen_project.html (緑のカーテン) http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/csf_2018.html (クールシェア)	福岡市環境局環境・エネルギー対策課 092-711-4282			
										感染症	発生源対策及び成虫の駆除	●デング熱等の感染症を媒介する蚊(ヒトスジシマカ)の生息域が東北地方北部まで拡大 △気候変動による気温の上昇や降水の時空間分布の変化は、感染症を媒介する節足動物の分布可能域を変化させ、節足動物媒介感染症のリスクを増加させる可能性がある	防蚊対策に関する注意喚起	市民への情報提供	ホームページ、広報媒体等を通じて感染症及び防蚊対策の普及啓発の実施している。今後は、セミナー等の開催を通じ、媒介蚊対策の重要性について周知していく予定である。	<デング熱> http://www.city.kitakyushu.lg.jp/hohuku/18301059.html	北九州市保健福祉局保健衛生課 093-582-2425
											発生動向の調査		感染症の発生動向の把握	感染症にかかる情報提供	蚊が媒介する感染症について、国内外の発生動向等を捉え、市民に対して予防の観点からホームページで注意喚起するとともに、相談窓口を紹介している。	<福岡市ホームページ> http://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/hokenyobo/health/kansenjyoho/zensuhoukoku.html http://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/hokenyobo/health/kansen/denngu.html	福岡市保健福祉局保健予防課 092-711-4270